

Japan Storage Systems (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Storage Systems (Japanese Version)」は、国内ストレージ市場におけるさまざまな分野について詳細な市場分析、予測、競合状況などを報告します。年間を通じて発行される調査報告書はすべて、同市場で成功を収めるための戦略策定、プロダクトマネージメントや開発、マーケティング、販促活動などにお役立ていただけます。2022年はデジタルトランスフォーメーション（DX）に対応するストレージインフラとして、クラウド向けストレージ、オールフラッシュストレージ、ユーザー企業のストレージ需要動向（利用モデルや運用管理の自動化など）調査を強化しています。

Markets and Subjects Analyzed

- エンタープライズストレージシステム
- メディアタイプ別エンタープライズストレージシステム
- オールフラッシュストレージ
- SANとNAS
- テープストレージ
- クラウド環境向けストレージ

Core Research

- 国内エンタープライズストレージシステム市場 予測とシェア
- 国内エンタープライズストレージシステム稼働容量予測
- 国内テープストレージ市場 予測
- 国内クラウド向けストレージ市場 予測
- 国内オールフラッシュストレージ市場 予測とシェア
- 国内ストレージ需要動向調査
- IDC FutureScape: Worldwide Enterprise Infrastructure 2022 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Storage Systems \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- クラウド向けストレージ市場における成功の鍵とは？
- オールフラッシュストレージの成長は国内ストレージシステム市場にどのような影響を与えるのか？
- ストレージシステム市場にけるシェア変動の要因はどのように変化しているのか？
- メディアタイプ別に見たストレージ市場におけるビジネス機会とは？
- デジタルデータアーカイブの需要拡大はテープストレージ市場にどのような影響を与えるのか？
- DXに取り組む企業の増加は国内企業のストレージ需要にどのような影響を与えているのか？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較/分析を行います（アルファベット順、50音順）。

Dell Technologies (Dell EMC)、F5 ネットワークス、IBM、NEC、アクティフィオ、アップル、ウエスタンデジタル、オラクル、クアンタム、クラウドリアン、シスコシステムズ、ソニー、タンベルグデータ、データダイレクト・ネットワークス、東京エレクトロニクス

、東芝、日本ヒューレット・パカード、日本ユニシス、ニュータニックス、ニューテック、ネットアップ、パナソニック、ピュア・ストレージ、日立製作所、富士通、ブロードコム、レッドハット、その他